

八街市協働のまちづくり検討会分科会報告書

分科会名	第1分科会		
テーマ	高齢者・障害者福祉		
開催日	平成26年 7月17日	検討回数	第6回

検討結果概要

1. 今回検討した項目

高齢者・障害福祉について、今まで出た課題の中で、克服していくための具体的なアイデアを出していく。また、それがどのような理由から必要なのか。協働としてどのように考えていくかを各自出し合って協議していく。

2. 今回の討議した内容(報告)

①独居老人対策(孤独死対策・一人死)
 ②障害者対策(発達障害・身体障害・知的障害等)
 ③不登校対策(学童保育)
 ④自治会(区)の加入率を増加させる対策
 ⑤災害時要援護者対策

高齢者に関することが一番身近であり、活発に色々な意見が出された。

- ・独居老人については、親族の協力が得られなかったり民生委員等の見守りにとどまっているケースもあり高齢者のみの世帯が増加する中、地域の協力は欠かせないと思われる。
- ・「向こう3軒両隣」単位での支援から始めていってはどうか。
- ・家族からの虐待で行き場がない高齢者については、介護認定等受けていなくても緊急避難的(一時的)に逃げられる場があるといいという意見もあり。
- ・隣近所からの声の掛け合いから始めたい。
- ・公的サービスの他、有償サービス、ボランティア、親族の援助、地域の援助等考えられるが、地域の世話好きおばさんの力を借りたい。
- ・高齢化に伴いシルバーサロンの設立。ひとりになっても元気で生きがいを持ち安心して暮らせる環境、また要介護にならないよう地域住民で支え合えるサロンが必須と考える。
- ・介護予防のための健康教室や障害対策として、個々の人生経験や知識・能力を生かせる場の必要性を感じる。
- ・地域側として、高齢者の見守りや若者の育成、声かけ運動の推進を図りたい。
- ・保健推進員と民生委員で訪問時に健康に関しての情報提供も行えたらと考える。

見守り-----安心・安全ネットワーク形成と「防災と福祉のまちづくり」を目指す。
 町内会の自治組織の強化。
 「向こう3軒両隣」単位での支援。

居場所づくり-----シルバーサロンの設立。
 生きがい-----高齢者のみならず孤独死を無くすための地域サロン活動を中心とした、持てる力が発揮できる組織作り。

社会参加-----各小学校区を核とした協働の推進。自治会(区)の加入率を増加させる対策。

社会貢献-----地域リーダーの養成。

交流-----働くことのできる高齢者による放課後教室の実践。(コミュニティー
 スクール)
 知的・発達障害児者の運動支援を既存のNPO・学生ボランティアと協働しながら障害理解と交流を図る。

3. 次回の検討方針

中間発表において、各分科会の調査・研究内容について意見交換し、最終報告までに取りまとめる課題等を検討する。